



2006年度BCAO分科会報告会

自然災害情報分科会の活動

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
自然災害情報分科会

目 的

自然災害情報分科会では、災害発生直後から、初動、復旧まで時系列的に必要な情報を検討し、それとともに平時から準備しておく必要があるものを平時に必要な情報としてとりまとめることとした。

運 営

分科会を月1回の頻度で実施。
これまでに9回の分科会を実施している。

自然災害情報分科会メンバー

		氏名	会社名
1	座長	市川 啓一	株式会社 レスキューナウ
2	副座長	足立 貴	日本ユニシス株式会社
3		枝 貴浩	株式会社アイアイジェイテクノロジー 関西支店プロフェッショナルサービス部
4		國貞 至	株式会社 レスキューナウ
5		下垣 豊	株式会社 日立製作所
6		鈴木 正徳	日本気象株式会社
7		富安 敏明	前田建設工業株式会社 経営管理本部 管理部 総務グループ
8		土井 雅晴	株式会社オリエンタルコンサルタンツ 東京事業本部
9		中村 全孝	沖電気工業株式会社 ネットワークアプリケーション本部
10		西村 友次	東電設計株式会社 営業本部営業総括部
11		橋本 彰一	株式会社 スズキ自販徳島
12		福竹 主水	富士通株式会社 プロセス改革事業推進室
13		山下 一	オムロン株式会社

想定する災害の定義



BCPを作成する場合には、災害を特定せずあらゆる事象に対して事業継続対応が実行出来るようにすることが前提である。しかし、ある程度イメージでき、検討をスムーズに進めるためにも、災害情報分科会ではケーススタディとして以下のケースを想定し今後の検討を進めることとした。

- ◆ 広域に被害をもたらす首都直下地震を想定する。
- ◆ 時間及び震源地は未定とし、フレキシブルな対応を検討する。
- ◆ 震度は6強程度の地震とする。
- ◆ 対象企業は東京に本社のある大手のメーカー企業とする。（社員は数千人規模）
- ◆ 本社は東京であるが、全国展開を図っており、地方にも主要拠点・工場が設置されている。

時系列の分類



平時・災害直後・初動・復旧に分類しそれぞれ検討した。ただし、発生時間や被害、対応状況がケースバイケースであるため、時間による分類は行わないこととした。本分科会では以下のように時系列を分類した。

平時	平常時、災害発生前まで（前兆現象発覚前まで）
発災直後	災害発生（前兆現象発覚）し、緊急チーム参集から災害対策本部設置まで
初動	災害対策本部を設置し、復旧活動開始まで
復旧	復旧活動開始から重要業務の操業度を復旧させる（目標復旧時間：RTO）まで
その他（復興） ※検討対象外	重要業務の復旧から平時業務状態移行まで

必要となる情報の時系列別整理



時間軸

行動

意思決定すること Why

意思決定の根拠となる情報 What

情報を取得するために平時において検討対策しておく事項

行動意思決定のために平時において検討策定しておく事項

情報の取得者 Who

取得手段 How

ステージ	平時	発災直後	初動	復旧
時期	発災前	発災直後	初動	復旧
行動	<ul style="list-style-type: none"> 方針の策定 業務の継続 意思決定 情報取得 取得手段 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建
意思決定すること Why	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の策定 事業継続計画の発動 事業継続計画の修正 事業継続計画の廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建
意思決定の根拠となる情報 What	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建
情報の取得者 Who	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建
取得手段 How	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建 	<ul style="list-style-type: none"> 被災地の状況把握 被災者への支援 被災地の復旧 被災地の復興 被災地の再建

平時

発災直後

初動

復旧

- ◆各時系列の必要情報の洗い出し結果をとりまとめる。
- ◆発災直後、初動、復旧のステージの内容をとりまとめグルーピングを行い、平時のとりまとめを行う。
- ◆まとめた情報の収集方法、そのための平時からの備えを検討する。
- ◆分科会を継続的に実施し、12月を目処に検討結果をまとめる。

特定非営利活動法人
事業継続推進機構



A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

本部:

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-21 新虎ノ門実業会館ビルB3階

TEL:03-5521-2235 FAX:03-5521-2236

Eメール:bc@bcao.org ホームページ:www.bcao.org

支部:

〒553-0006

大阪府大阪市福島区吉野4丁目29番20号大阪NPOプラザ内115号

TEL:06-4804-6761 FAX:06-4804-6762